

門真市第7期高齢者保健福祉計画（素案）
パブリックコメント結果報告

1. 案件名

門真市第7期高齢者保健福祉計画（素案）

2. 意見募集期間

平成30年1月11日（木）～平成30年1月31日（水）

3. 実施機関（担当所管課）

- （1）名称：保健福祉部 高齢福祉課
- （2）電話番号：06-6902-6176

4. 閲覧場所

- （1）高齢福祉課
- （2）市役所本館入口
- （3）市情報コーナー（市役所別館1階）
- （4）保健福祉センター
- （5）南部市民センター
- （6）市民プラザ
- （7）ルミエールホール
- （8）市民交流会館・中塚荘
- （9）市立公民館
- （10）文化会館
- （11）図書館本館
- （12）老人福祉センター
- （13）高齢者ふれあいセンター
- （14）女性サポートステーション（WESS）
- （15）こども発達支援センター
- （16）市ホームページ

5. 受付した意見等の件数

5件（3名の方から意見が出されました。）

6. 意見に対する考え方

寄せられた意見に対し、素案の修正は行いませんが、意見に対する市の考え方は以下の通りです。

門真市第7期高齢者保健福祉計画（素案）
パブリックコメント結果報告

	意見概要	意見に対する市の考え方
1	<p>□認知症サポーター養成講座について 小中学校における認知症サポーター養成講座は、長期的な観点で、まちづくりの観点から、重要な取り組みであり、市内の全ての小中学校で、認知症サポーター養成講座を年1回必ず実施する取り組みがあれば良い。</p>	<p>□現在、一部の小学校では授業の一環として認知症サポーター養成講座を開催しており、認知症に対する正しい知識の普及を行っております。今後、より多くの学校で実施できるよう取組をすすめていく必要があると認識しております。</p> <p>本計画におきましては、61頁「認知症サポーターの養成と活動支援」に記載しておりますとおり、今後の取組として、学校や企業などと連携し、地域包括支援センター、認知症キャラバンメイトと協働のもと、幅広い市民が認知症サポーターとなるよう働きかけをおこなってまいりたいと考えております。</p>
2	<p>■認知症対策の充実について 認知症の人がサービスの受け手のみではなく、地域住民として社会参加し、活躍できるまちづくりが必要。認知症の人が働ける場所を創り出すことはできないか。</p>	<p>■高齢者の社会参加は、いきがいや介護予防につながり、また、生活支援サービス等の担い手と受け手という画一的な関係ではなく、支え合いの地域づくりを構築する上で重要であると考えております。</p> <p>認知症は人によって、その症状、進行は様々であるため、無理なく、身近な地域で自分の能力に応じた社会活動ができる仕組みづくりが必要と考えます。社会参加・社会貢献活動につながる事業を実施している老人クラブやシルバー人材センターをはじめ、気軽に参加できる様々な場づくり、機会づくりを各種団体と連携しながら進めていきます。</p>

門真市第7期高齢者保健福祉計画（素案）
パブリックコメント結果報告

	意見概要	意見に対する市の考え方
3	<p>□生涯学習・生涯スポーツの推進について</p> <p>全国大会として高齢者のスポーツ大会の「ねんりんピック」が毎年開催されている。高齢者のスポーツへの意識を高めるため、年に1度、高齢者がスポーツで競い、楽しむ「門真ねんりんピック」のようなイベントを開催してはどうか。</p>	<p>□全国健康福祉祭（ねんりんピック）は高齢者等の健康の保持増進、社会参加、いきがいの高揚を図り、ふれあいと活力のある長寿社会の形成に寄与するため、毎年開催地を移しながら開催されており、本市でも複数の市民が参加されております。</p> <p>また、本市では、子どもから高齢者まで日ごろの運動習慣を身に付けるきっかけづくりをめざし、スポーツ・レクリエーション大会の開催、総合型地域スポーツクラブと協働で、幅広い年齢層にスポーツ・レクリエーションの機会を提供、老人クラブ連合会と共催の「歩こうよ・歩こうね」運動等、高齢者のスポーツへの意識を高めるための取組を行ってきました。</p> <p>本計画におきましては、71頁「スポーツ・レクリエーション活動の機会の創出」で記載しておりますとおり、今後も総合型地域スポーツクラブと協働で高齢者がいきいきと健康で過ごすことができ、誰もが、そのライフスタイルに応じたスポーツ・レクリエーション活動を楽しむことができる機会をつくるよう努めていきます。</p>
4	<p>■健康で長生きできるまちづくりについて</p> <p>人生100年といわれる時代に対応した体制づくりと健康で長生きできる門真市をつくってほしい。</p>	<p>■行政の取組や関係機関との連携はもちろん、市民・地域・団体などの主体的な取組を支援するとともに、公民協働で高齢者を支えるまちづくりに取り組み、人もまちも元気なまちづくりをめざしていきます。</p>

門真市第7期高齢者保健福祉計画（素案）
パブリックコメント結果報告

	意見概要	意見に対する市の考え方
5	<p>□コミュニティーバスの運行について 高齢者ふれあいセンターから老人福祉センターまで免許証を返すと活動範囲が少なくなるため、コミュニティーバスの運行をお願いしたい。</p>	<p>□コミュニティーバスの運行ルートにつきましては、これまでも見直しの協議を京阪バス㈱と重ねてきておりますが、現行の運行ルートが利用者に定着していることや、既存路線との兼ね合い等により現状では見直しには至っておりません。</p> <p>今後も引き続き、協議の場を設け、高齢者等の社会参加の促進が図れるよう利用状況等も考慮した上で京阪バス㈱と協議してまいりたいと考えております。</p>